



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 WDBホールディングス株式会社
コード番号 2475 URL <http://www.wdbhd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中野敏光

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 大塚美樹

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 079-287-0111

平成28年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	15,887	9.1	1,630	22.6	1,633	22.7	831	6.3
28年3月期第2四半期	14,560	8.7	1,330	16.5	1,331	15.8	781	22.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 818百万円 (4.7%) 28年3月期第2四半期 781百万円 (21.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	41.44	—
28年3月期第2四半期	38.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	14,671	10,129	69.0
28年3月期	13,960	9,461	67.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 10,129百万円 28年3月期 9,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	2.50	—	7.50	10.00
29年3月期	—	2.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,081	11.2	2,827	3.3	2,827	3.3	1,696	2.6	84.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注)尚、当社は、平成28年4月1日付で、WDBケミカルラボラトリー株式会社を設立しております。また、平成28年9月30日時点で、ポストクスタイル株式会社は清算手続き中であります。これにより、当社グループは、当社および子会社19社で構成されております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	20,060,000 株	28年3月期	20,060,000 株
29年3月期2Q	2,226 株	28年3月期	2,226 株
29年3月期2Q	20,057,774 株	28年3月期2Q	20,057,787 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表における四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

(その他特記事項)

・当社は、平成28年11月28日に、機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益ならびに雇用情勢の改善により、ゆるやかな景気の持ち直しが期待される反面、年初からの円高・株安の進行に加え、中国経済の減速、英国のEU離脱問題など、全体として景気の下振れリスクもあり、先行き不透明な状況で推移しております。

国内の雇用情勢におきましては、厚生労働省が発表した平成28年9月の有効求人倍率(季節調整値)が、1.38倍と、前月を0.01ポイント上回り、また、総務省が発表した平成28年9月の完全失業率(季節調整値)についても、3.0%と、前月を0.1ポイント下回り、全体として改善を続けております。

当社グループは、従来、化学・バイオ分野を中心とした理学系研究職派遣、機械・電子分野を中心とした工学系技術職派遣からなる「人材サービス事業」、医薬品開発の支援を行う「CRO事業」、有機化学品の受託製造、二枚貝を中心とした海水生物の販売・受託試験、射出成型機器の製造・販売を行う「研究開発・製造事業」ならびに、当社グループの支援を行う「グループ戦略補助事業」で構成されておりましたが、今年度より、「CRO事業」につきましては、本格的な海外進出を開始し、また新たな事業領域としまして、人材サービス事業で培ったマッチングのノウハウと、インターネットを組み合わせた「インタラクション事業」を設け、現在当社及び子会社19社で構成されております。

当社グループの中核事業である「人材サービス事業」につきましては、理学系研究職派遣において、全国16拠点に設けた研修所の本格的な稼働により、自社で訓練・養成を施した付加価値の高い人材を輩出できる体制が整いました。雇用情勢の改善によるスタッフの確保は厳しさを増しておりますが、当社グループ独自の研修制度導入により、顧客からのさまざまなニーズにお応えしております。また、工学系技術職派遣につきましても、WDB工学株式会社のスタッフが全国で稼働し、業績を順調に拡大しております。

CRO事業につきましては、国内ではWDBアイシーオー株式会社の業績が順調に推移しておりますほか、平成28年4月に設立しましたWDBケミカルラボラトリー株式会社におきましては、同じく平成28年2月に設立しましたWDB India Pvt, Ltd. (WDBインドIA株式会社)とともに、主として創薬研究のための実験業務を代行することを目的としており、本格的な受注を目指して活動しております。また、平成27年8月に米国フィラデルフィアに設立いたしましたWDB Medical Data, Inc. (WDBメディカルデータ株式会社)につきましても、本格的な事業開始に向け活動を行っており、グループ内で連携を取りながらグローバルCRO体制の構築を目指しております。

以上のような活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、15,887百万円(前年同期比9.1%増)となりました。

営業利益につきましては、1,630百万円と前年同期と比べ300百万円(前年同期比22.6%増)の増益となりました。また、経常利益につきましては、1,633百万円と前年同期と比べ302百万円(前年同期比22.7%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、831百万円と前年同期と比べ49百万円(前年同期比6.3%増)の増益となりました。

各セグメントの業績につきましては、下記のとおりとなっております。

①人材サービス事業

理学系研究職派遣ならびに工学系技術職派遣が堅調に推移したため、当セグメントの売上高は、14,861百万円と前年同期と比べ1,292百万円(前年同期比9.5%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、1,707百万円と前年同期と比べ360百万円(前年同期比26.7%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

②CRO事業

当セグメントにつきましては、WDBアイシーオー株式会社の受注が堅調に推移したことにより、売上高は623百万円と前年同期と比べ48百万円(前年同期比8.5%増)の増収となりましたが、昨年度より展開をしております海外CRO事業について、事業立ち上げコストの増加により、セグメント利益(営業利益)は、39百万円と前年同期と比べ73百万円(前年同期比65.3%減)の減益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

③その他

当セグメントの売上高は、401百万円と前年同期と比べ15百万円(前年同期比3.6%減)の減収、セグメント利益(営業利益)は37百万円と前年同期と比べ24百万円(前年同期比190.7%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、主として現金及び預金の増加により、総資産は14,671百万円となり、前連結会計年度末と比較して710百万円の増加となりました。負債につきましては、主として賞与引当金の増加により4,541百万円となり、前連結会計年度末と比較して42百万円の増加となりました。また、純資産は10,129百万円となり、前連結会計年度末と比較して668百万円の増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結会計期間末と比較して1,711百万円増加し、6,219百万円となりました。また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,523百万円を計上しましたが、減損損失129百万円の計上および未払金112百万円の減少ならびに、法人税等の支払額が644百万円となったことにより、1,112百万円の収入(前年同期は187百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の取得による支出46百万円により、4百万円の支出(前年同期は66百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として配当金支払による支出150百万円により、155百万円の支出(前年同期は195百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月11日に発表致しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,292,206	6,224,030
受取手形及び売掛金	3,699,765	3,687,795
商品及び製品	11,886	11,336
仕掛品	33,151	26,565
原材料及び貯蔵品	80,974	82,035
繰延税金資産	238,047	223,059
その他	368,816	340,040
貸倒引当金	△1,138	△230
流動資産合計	9,723,709	10,594,633
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,697,234	1,636,774
土地	1,441,263	1,441,263
その他(純額)	197,052	178,045
有形固定資産合計	3,335,549	3,256,082
無形固定資産		
のれん	43,446	32,584
その他	13,204	14,817
無形固定資産合計	56,650	47,401
投資その他の資産		
投資その他の資産	877,480	810,512
貸倒引当金	△32,589	△37,395
投資その他の資産合計	844,890	773,117
固定資産合計	4,237,090	4,076,602
資産合計	13,960,800	14,671,235
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,624,282	1,552,147
未払法人税等	579,681	582,108
賞与引当金	391,958	470,473
その他	1,294,126	1,311,215
流動負債合計	3,890,048	3,915,944
固定負債		
役員退職慰労引当金	344,738	356,584
退職給付に係る負債	134,682	141,357
資産除去債務	88,469	90,040
その他	41,478	37,750
固定負債合計	609,368	625,731
負債合計	4,499,417	4,541,676

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	218,024	218,024
利益剰余金	8,273,397	8,954,108
自己株式	△553	△553
株主資本合計	9,490,868	10,171,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,947	15,460
為替換算調整勘定	73	△19,421
退職給付に係る調整累計額	△44,507	△38,059
その他の包括利益累計額合計	△29,486	△42,019
純資産合計	9,461,382	10,129,559
負債純資産合計	13,960,800	14,671,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	14,560,614	15,887,260
売上原価	10,961,322	11,934,571
売上総利益	3,599,291	3,952,689
販売費及び一般管理費	2,269,131	2,322,044
営業利益	1,330,159	1,630,645
営業外収益		
受取利息	368	24
受取配当金	1,922	466
還付加算金	231	524
受取保険金	189	377
雑収入	3,227	3,603
営業外収益合計	5,939	4,995
営業外費用		
支払利息	91	0
雑損失	4,983	2,380
営業外費用合計	5,074	2,380
経常利益	1,331,023	1,633,259
特別利益		
固定資産売却益	2,758	-
投資有価証券売却益	35,400	-
受取保険金	-	20,000
特別利益合計	38,158	20,000
特別損失		
固定資産売却損	-	600
減損損失	-	129,113
特別損失合計	-	129,713
税金等調整前四半期純利益	1,369,182	1,523,545
法人税、住民税及び事業税	563,652	665,053
法人税等調整額	23,841	27,348
法人税等合計	587,493	692,402
四半期純利益	781,688	831,143
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	781,688	831,143

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	781,688	831,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,234	513
為替換算調整勘定	△1,349	△19,494
退職給付に係る調整額	2,636	6,447
その他の包括利益合計	53	△12,533
四半期包括利益	781,742	818,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	781,742	818,609
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,369,182	1,523,545
減価償却費	84,741	91,947
のれん償却額	15,618	10,861
減損損失	-	129,113
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,762	3,897
賞与引当金の増減額(△は減少)	42,634	78,514
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,064	11,845
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,566	16,000
受取利息及び受取配当金	△2,290	△490
支払利息	91	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,758	600
投資有価証券売却損益(△は益)	△35,400	-
売上債権の増減額(△は増加)	164,035	11,969
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,792	6,074
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△40,803	7,611
仕入債務の増減額(△は減少)	△144,336	△72,134
未払金の増減額(△は減少)	△95,295	△112,543
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△583,708	45,669
その他	7,668	3,885
小計	799,563	1,756,370
利息及び配当金の受取額	2,383	490
利息の支払額	△75	△0
法人税等の支払額	△614,453	△644,206
営業活動によるキャッシュ・フロー	187,418	1,112,653
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△75,063	△46,534
有形固定資産の売却による収入	16,304	1,052
無形固定資産の取得による支出	△8,623	△4,637
資産除去債務の履行による支出	△7,135	△1,539
投資有価証券の売却による収入	71,400	-
敷金の差入による支出	△66,215	△3,397
敷金の回収による収入	5,228	740
保険積立金の払戻による収入	-	50,128
その他	△2,260	△624
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,366	△4,812
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△58,811	-
リース債務の返済による支出	△6,866	△5,782
配当金の支払額	△130,225	△150,182
自己株式の取得による支出	△44	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195,947	△155,964
現金及び現金同等物に係る換算差額	849	△19,494
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△74,045	932,381
現金及び現金同等物の期首残高	4,582,477	5,287,207
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,508,431	6,219,588

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成 27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,568,469	574,981	14,143,450	417,163	14,560,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28,873	—	28,873	—	28,873
計	13,597,343	574,981	14,172,324	417,163	14,589,488
セグメント利益	1,347,123	112,560	1,459,684	12,963	1,472,647

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形装置の製造開発事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,459,684
「その他」の区分の利益	12,963
全社費用(注)	△142,488
四半期連結損益計算書の営業利益	1,330,159

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成 28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,861,405	623,907	15,485,313	401,947	15,887,260
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,625	72	14,697	—	14,697
計	14,876,030	623,979	15,500,010	401,947	15,901,957
セグメント利益	1,707,399	39,097	1,746,496	37,680	1,784,177

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形装置の製造開発事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,746,496
「その他」の区分の利益	37,680
全社費用(注)	△153,532
四半期連結損益計算書の営業利益	1,630,645

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「人材サービス事業」セグメントにおいて、中央研究所(千葉県松戸市)の建物の解体に伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額及び解体費用を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては129,113千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。